

## 町田市新庁舎建設基本計画策定委員会第1回市民部会

### 議事要旨

日時：2004年7月31日 10:00～12:15

場所：町田市役所特別会議室

出席者：寺田市長

委員：赤堀委員、五十嵐委員、井上(直)委員、井上(浩)委員、大島委員、岡本委員、中里委員、西川(新)委員、野口委員(以上、施設分科会)

荒江委員、川島委員、坂本委員、重森委員、崔委員、西川(紀)委員、西村委員、盛永委員(以上、市民利用分科会)

浅井委員、天野委員、加来委員、木美委員、高橋委員、北条委員、前田委員、八木委員、米山委員(以上、まちづくり分科会)

事務局：企画部長安藤、企画部新庁舎担当部長渋谷、企画部企画調整課新庁舎担当課長石川、企画部企画調整課課長補佐松村、同課主査傳田、同課主事浦田

傍聴者数：4名

### 議事要旨

#### 1. 委嘱状交付

寺田市長より各委員に委嘱状が交付された。

#### 2. 市長あいさつ

市長より、安心、安全、快適な庁舎の実現のため、市民部会のみなさまには、市民の立場でよろしくご検討をお願いしたい旨のあいさつがあった。

#### 3. 市民部会趣旨説明

町田市新庁舎建設基本計画策定委員会の安藤委員長(企画部長)より説明があった。

- ・耐震性や庁舎の分散化などの問題から新庁舎を建設することとなり、本年6月に基本構想をまとめたところであり、来年3月までに基本計画をまとめることとなっている。
- ・市民、職員、アドバイザーグループを組織し、それらの議論をベースに策定委員会でまとめることとなる。相互の議論を通じて齟齬が生じるところは委員会で調整する。
- ・市民の視点、利用者の視点で庁舎についての検討を行っていただきたい。
- ・市民部会では、12月を目処に一定の結論を出していただきたい。

#### 4. 講演

東京都立大学大学院工学研究科教授(元町田市庁舎問題検討委員会委員長)である高見澤邦郎先生より講演があった。

- ・庁舎問題検討委員会の検討過程では、行政が行った市民アンケートの結果や、寄せられた市民意見等を参考にして進めてきた。
- ・委員全員の一致のもと基本構想をまとめ上げており、本構想は市民として重く受け止められるものだと感じている。
- ・今後の議論の方向性として、納得のいく施設を作るには市民・職員の適切な議論のもと、最大限の努力を行い、市民に理解を求めていくことが重要。また建替えに至る期間も市民と職員の「協働」を進めることが必要である。
- ・町田市の地理的特徴も踏まえ、「市民センターのあり方」を念頭においた議論も行っていただきたい。ただし、「市民センターの充実が先」でそれが行われた上で立替え、ということではない。
- ・基本構想に後戻りするものではなく、基本構想をベースとして検討を進めていただきたい。

#### 5. 分科会主旨説明

企画部の渋谷新庁舎担当部長より説明があった。

- ・市民が主役であることを念頭に議論を進めていただきたい。
- ・基本構想をベースに基本設計につながる具体の表現の検討を行うのが本部会の目的である。
- ・新たな調査要望がある場合、事務局側で可能な限り対応する。ただし、別途費用がかかる場合は、時間をいただくこともある。
- ・議事要旨はまとめ次第、委員に送付し、次回の部会において確認いただく。

#### 6. 質疑応答

Q：各分科会での議論の結果について、分科会間で齟齬が出た場合にどのように調整するのか？

A：市民の視点から自由に議論していただく主旨なので、職員が調整に入ることはしない。分科会長、副会長、コンサルの支援のもと、議論を形成していただきたい。

Q：分科会間の調整は、会長、副会長が行うのか？

A：各分科会でテーマが異なるので、基本的には分かれていくと思うが、重なる部分で違う方向性の結論が出た場合、それぞれの結論は尊重されるべきである。最終的な調整は、基本計画を策定する間にいろいろな要素を検討し、どちらかの方向性を選択していくことになる。

Q：2回目以降の議論の進め方は、分科会での判断か？

A：基本的にはその通り。コンサルの支援を得ながら、議論を進めていただきたい。

Q：コンサルにお願いできる範囲は？

A：情報が何も無い中では議論は難しいと考える。後ほど、次回以降の進め方をコンサルが説明するが、事例収集、情報提供は契約内の範囲である。また不足するものがある場合、各委員から提出していただくことも考えている。

Q：先進事例の視察会は企画しているのか？

A：町田市と同じ規模で参考になる自治体は限定されるため難しいと考えるが、規模を問わず近隣で参考になる事例がある場合は対応したいと考えている。市のマイクログラスで対応可能な事例については積極的に対応したい。

Q：本部会の役割は基本計画の策定か？

A：基本計画の策定は2005年3月までに行う。市民部会以外に職員部会、アドバイザー会議も並行して開かれ、12月までにそれぞれの議論を集約し、その後、基本計画を策定する。12月までの議論は各分科会に委ねられるが、アウトプットの具体的なイメージについては、コンサルから資料提供があるだろう。基本的には基本構想の中身を具体的に「言葉」として表現するイメージである。

## 7. 第1回分科会

各分科会議事要旨を参照

## 8. 閉会

## 9. 市民部会正副会長互選

互選により以下の正副部会長が選任された。

部会長 井上 浩行（施設分科会長）

副部会長 川島 演（市民利用分科会長）

木美 貢（まちづくり分科会長）